

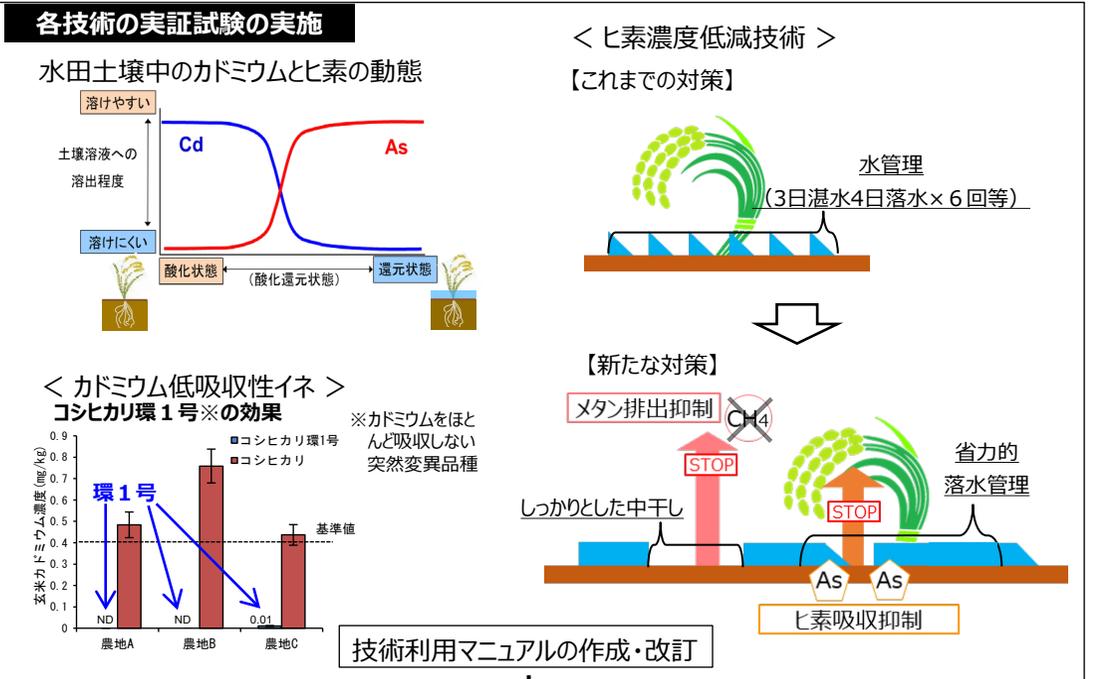
○ 消費・安全対策交付金のうち
水稲におけるカドミウム及びヒ素濃度低減技術の実証・普及
 【令和7年度予算概算決定額 1,896 (1,720) 百万円の内数】

<対策のポイント>
 国際的なコメ中のカドミウム及びヒ素基準値の見直しの動き等を踏まえ、より安全な農作物の供給体制の確立に向けて水管理の省力化等の新たな研究成果に基づく**水稲のカドミウム及びヒ素濃度低減対策を推進**します。

<事業目標>
 令和12年度までに水稲におけるカドミウム・ヒ素濃度低減技術を**都道府県の5割**で導入。

<事業の内容> **<事業イメージ>**

- 【支援内容】
- 1. カドミウムとヒ素の同時低減対策の確立**
 カドミウムとヒ素の同時低減が必要な地域において、**カドミウム低吸収性イネ**と**出穂期の水管理**等を組み合わせた**カドミウム及びヒ素濃度低減技術の実証試験**や、**水田からのメタン排出削減技術**との両立に向けた**実証試験**を行うとともに、**実証結果を踏まえた技術の普及体制の構築**を支援します。
 - 2. ヒ素濃度低減対策の確立**
水管理等による水稲における**ヒ素濃度低減効果**と**生育・収量**等の両立に向けた**実証試験**や、**水田からのメタン排出削減技術**との両立に向けた**実証試験**を行うとともに、**実証結果を踏まえたヒ素濃度低減技術の普及体制の構築**を支援します。



<事業の流れ>

国 → 都道府県等 → 市町村、農業者団体等

交付
 (1の事業のうち技術の実証試験の実施：10/10)
 (1の事業のうち技術の普及、2の事業：1/2以内)

各技術の普及
 ・実証技術の導入・周知のための検討会の開催
 ・技術利用マニュアルに基づく展示ほの設置・運営

コメ中カドミウム及びヒ素濃度低減対策の確立